



発行所：ベトナム子供基金

〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13 アジア文化会館内
電話(代表)：03-3946-4121 ファクス：03-3946-7599
電子メール：kodomokikin@nifty.com ホームページ：<http://homepage3.nifty.com/vcf/>

ベトナム子供基金通信

No. 41
2007. 10. 20



1968年の秋、私は23歳で、ベトナム中部高原の入り口の小さな町で、ベトナム人青年たちの社会奉仕団の一員に加えてもらっていました。

奉仕センターにいつも来ていた2人の難民の少女、バイとチャウは一小学校の5、6年生に見えました—いつも年下の子どもたちの世話をし、青年たちを手伝って

ました。そこは夜になると迫撃砲や大砲の音が響き、時には耳元で小銃弾の風を切る音が聞こえるような所でした。それでも彼女たちは目を輝かせ、一所懸命に毎日生きていました。

翻って今の日本の子どもたちを見ると、私たち自身もそうかもしれませんが、その顔はあの少女たちのようには明るく見えません。

ベトナムも当時とはもちろん違いますが、子どもたちの手紙を読むと、生きる懸命さが伝わってきて励まされます。

そういうときは、どちらが支援しているのか分からなくなり、あるべき世界は、国境を越えて、みんなが力を合わせることによって、初めて実現されるのだと感ずるのです。
(近藤 昇)

(本文と写真とは関係ありません：編集部)

ホウ工青葉奨学会代表、本会スタッフと対談



小学校開校式であいさつするホウ工代表

青葉奨学会（ベトナム、ホーチミン市）のグエン・ドク・ホウ工代表が、ドンズー日本語学校日本語教員兼留学生事務担当者のグエン・ティ・ヒエップさんとともに来日した。

来日を機会に、ベトナム子供基金代表の近藤昇さんや事務局員などが、ホウ工氏らと対談した。

対談は9月21日午後、終始和やかな雰囲気、1時間であった予定をかなり超過して行われた。

中国北京に立ち寄る

— 長旅ご苦労さまでした。お疲れでしょう。

ホウ工 今回は初めて中国を経由し、北京を2日間見て、昨日来日しました。社会主義を掲げる国でもベトナムと中国とは違いがあり、興味深かったです。

中国の民族色の強い社会主義は印象的でした。

格差、ベトナムでも顕在化

— ベトナムの子どもたちをめぐっては、何が一番大きな問題になっているのですか？

ホウ工 ベトナムは経済成長は順調といわれていますが、日本以上に経済格差が拡大しているかもしれません。グローバリズムにメリットもありますが、私たちは成長に取り残された社会の影に目を注ぐ必要がありますね。



ホウ工代表の話を聞く小学生

— どこが問題ですか

ホウ工 まず農村でしょう。都市部では近代的な教育インフラが整備されている所もあります。

ハノイ市やホーチミン市には、欧米と肩を並べるインターナショナルスクールができ、富裕な人々はその利益を受けています。

一方、農村部では学校に通えない子どもが多数います。

教育費は原則無料ですが、施設維持費、教育に付随する教科書、通学服や靴など、学校に行く以前にお金がかかります。それは保障されていません。

WTO加盟後、ベトナムも世界的に激しい

競争にさらされています。農村では、従来の農業では現金収入がなくて生活が困難な人が多数出ています。日雇いや土木工事で日銭を稼げる人はまだ良いほうです。

増加する？退学者

ホウ工 正確な統計は今手元ありませんが、退学者が以前より増えていると、ベトナムで噂されています。中部のある省の小学校では900人の在学生のうち、実に100人余りがごく短期間に退学したと新聞が報道しました。

私も近年の退学者の増加に頭を悩ませています。

退学は、小学校、中学校、高校のいずれでも増加していると思います。経済的理由による欠席で、退学寸前の児童・生徒もいます。小学校教育さえ受けられないのは、重大な問題です。

ベトナム人は元来教育を重視する国民です。退学した子どもは、いずれも家庭の重要な労働力として期待されるのです。



青葉奨学金の授与式

「ベトナムの子どもに明るい未来を！」



ベトナム南部の小学校

小学校教育を受けなければ、現代社会では就職はできません。何とか学校に復帰させたいものです。額は少なくとも奨学金を出せば退学を食い止められるか、考えています。

山岳部や少数民族、深刻

— 特に深刻なのはどこですか。
ホウエ ベトナム北部では、学校があるのに子どもが退学して減少する、という現象が起きているようです。詳しい調査が必要なのですが、私が多忙なため、現地調査は進んでいません。山地民族やクメール民族なども、困難に直面しています。

黄梅奨学金の増額を検討！

ホウエ 危機的状況にある農村の子どもを広く救済するため、黄梅奨学金（小学生：約12ドル/年）を15ドルに増額することを考えています。

— 黄梅奨学金は利子運用ですから、授与金額が少ないのではないですか。

ホウエ 金額は確かに少ないのですが、親の中には奨学金がもらえ

るなら学校に行かせると考ええる人が多数います。15ドルでも意味があるというベトナムの実情を理解してください。

教育は本来国家の仕事で、政府もそう言明しています。

青葉奨学会が手をつけられるのはベトナムの矛盾のごく一部です。私は無力感にとられることがあるほどです



農村の小学校教室内部（南部）

外国企業の問題

ホウエ ベトナムに多数の外国企業が進出するようになりました。優れた若者の多くも、進んで「外資」の下で働いています。

経済的な豊かさを追求するという意味では当然でしょう。

しかし、私はベトナムの若者には、ベトナム民族全体を幸福にする思想を持ち、利己主義を避け、人間の平等をより深く考えてもらいたいと希望しています。

外資には、ベトナム青年の「青田刈り」をやめ、青年たちがベト

ナムの中核になれるよう、国家・企業経営のノウハウを提供してもらいたいですね。

外資の進出が、外資の利益追求の手段でなく、ベトナム国民全体の発展に寄与してくれるよう願っています。

— ヒエップさん、同世代として若者をどう思いますか？

ヒエップ 確かに、ベトナムの青年の最近の動向は、自己の利益中心という人が多いように思います。

ドンズーから日本に留学

— ホウエさんの運営するドンズー日本語学校から、日本に来る青年が増えていますね。

ホウエ 彼らが、私の希望を理解してくれることを期待して、日本留学を勧めています。

ドンズーの日本留学生課程は、朝5時に起き、8時から夜の9時まで勉強するという厳しいカリキュラムです。

日本に来てから、新聞奨学生などで生活しますから、意志の強い青年が必要になるだろうと思っています。（了）



船と自転車で通学 南部の中学生

ロンアン省フータイン村に小学校建設

北九州市の松原好直さん・美知子さん夫妻



新設されたフータイン小学校

北九州市のベトナム子供基金会員松原好直さん・美知子さん夫妻が、ロンアン(Long An)省のフータイン(Huu Thanh)村にフータイン小学校を寄贈した。

ロンアン省フータイン村へはタクシーがほぼ唯一の交通機関。ホーチミン市からタクシーを乗り続けて約2時間かかる。

周辺は緑豊かな田園地帯。集落とクリークが点在している。

小学校の敷地は、政府とフータイン村当局の配慮で、サトウキビ畑を転用した。

約6,400㎡の用地に、校舎として5教室、教室を結ぶ通路、付属施設の井戸、電気施設も設置された。環境問題を配慮し、ベトナム農村では珍しい簡易式水洗便所も別棟に設けられた。

寄贈者の松原好直・美知子夫妻の名前を刻した記念プレートが校舎中央に設置されている。

教育インフラ改善に寄与

フータイン小学校は、ロンアン省フータイン村に建設された唯一の小学校。これまでこの村の小学生は、約6km離れた他村の小学校に通学していた。

9月の新学期から、通学距離はおよそ半減される。

とりあえず約200人の児童がこの新築された小学校で新学期を迎える。

各教室の黒板の上にホーチミン(ホーチミン)の肖像画、教室周囲には花や子どもの作品が飾ってある。

4人掛けの机・いすの固定セットが、各教室に12セット置かれている。

今回建設された5教室には、地方学校には珍しく、ガラス窓、電灯、天井扇風機、熱逃がし用吹き抜けなどが設置された。

教育基盤整備の遅れているこの地方では、一般的に午前授業と午後授業を行う2部制が普通になっている。

フータイン小学校は、現在は1学級に約50人の児童が在籍するが、この地域では年少人口が急増中で、学校が慢性的に不足している。フータイン小学校も近い将来他地域の小学生を一部受け入れて、最大500人の小学生が学ぶ計画になっている。

整備された学校は、地域住民の公民館的施設としての使用も予定されている。

松原夫妻、開校式に出席

2007年6月23日、夏休みの一日

を利用して、竣工なった新小学校で開校式が挙行された。

開校式は、日本からかけつけた松原夫妻のほか、教師、生徒、父母、党・郡関係者、ベトナム青葉奨学会のホウエ代表など、約200人が出席し、盛大に挙行された。式典は地元メディア(テレビなど)が大きく報道した。開校を記念し、選抜された特待奨学生4人に奨学金、小学生全員に文房具がプレゼントされた。

小学校寄贈者の松原好直さんも子どもたちの将来を期待し、お祝いのスピーチをした。

日舞師範の美知子さんは和服で出席。スピーチの後、日本の童謡「さくらさくら」の踊りを披露、さらに歌唱を指導して会場の雰囲気盛り上げた。



松原さん夫妻とフータイン小学生

式典は終始和やかな雰囲気が進み、松原さん一行と現地関係者が身振り手振りを交えて会話をした。多忙な父母もこの日は仕事を休み、地酒や肉等を持ち寄り歓迎パーティーを挙行。

松原さん夫妻は、ホーチミン市で、かつての里子および現在支援中の里子に会い、6月下旬に無事帰国した。

ひと…人…NGUOI…第1回

リンちゃんと
日本で再会

今井幸恵



上写真 ABKで 前列右リンさん
中央が筆者 後列VCFスタッフ
右写真 世田谷文学館での2人

本『通信』第39号(第3ページ)で取り上げられた里子のチャン・ゴク・リン(Tran Ngoc Linh)さん(以下リンちゃん)が、今年3月留学のため日本に来ました。今は静岡で日本語学校に通いながら、アルバイトもしています。

8月半ば、TOFELの試験で横浜に行くというので、試験のあと会ってその日はうちに泊まってもらうことにしました。

リンちゃんは来日直後の4月末に、一度私のうちに来てくれたので、愛犬のロッキーはリンちゃんのことを覚えていたようです。リンちゃんもロッキーと再会してうれしそうでした。

新聞を毎日読む!

リンちゃんは少し前から日本語学校で新聞を読んでいるとのことでしたので、うちでもリンちゃんが新聞を音読するのを手伝ってあ

げました。

専門的になりますが、ベトナム語の中には漢越語といって、漢字が起源の言葉も多いのです。日本語の漢字の読み方は分からなくても、漢字からベトナム語の意味を

類推することができます。

リンちゃんはどこどころ読み方が分からない漢字がありました。新聞の内容はほとんど理解していたようです。



来宅の次の日の朝、ロッキーも連れて散歩に行きました。ロッキーはリンちゃんにリードを持ってもらってはしゃいでいました。沿道に咲いていたひまわりをリンちゃんは初めて見たそうです。

『ガラスの仮面』

散歩の途中、区の掲示板に貼られていた世田谷文学館で行われている「ガラスの仮面展」のポスターを見て、リンちゃんが「この漫画、有名ですよ」と言うので「『ガラスの仮面』のこと知ってるの?」と尋ねると、『ガラスの仮面』はベトナム語に翻訳されていて、リンちゃんやリンちゃんの高校の同級生はみんな貸本屋さんで借りて

読んでいたこと、とても人気があったことなどを教えてくれました。

『ガラスの仮

面』は美内す ずえ作の少女漫画で、1976年に連載が始まりまだ完結していません。

貧しい家庭に育った少女マヤが女優としての才能を見いだされ、美ほうと才能を併せ持つ亜弓と幻の名作『紅(くれない)天女』の主演を目指して才能を競う演劇ストーリーで、今までにアニメ化、舞台化、ドラマ化もされています。私は20年くらい前にこの漫画を読みました。

世田谷文学館へ

この日はいい機会だからと予定を変更して「ガラスの仮面展」に行きました。

展覧会には、たくさんの原画やストーリーの年表、人物相関図などが展示されていました。

漫画のふきだしにはルビ(ふりがな)がふられているので、日本語を勉強しているリンちゃんにとってはよかったみたいです。

カラー原画の美しさには驚いていました。

2日間ふたりでとても楽しい時間を過ごしました。

これからリンちゃんは、勉強やアルバイトで大変だと思います。希望の大学に入学し、充実した日本の生活を送れることを願ってやみません。

(運営委員・いまい ゆきえ)



チャン・ゴク・リンさん



トナムからの手紙

青葉奨学生から里親への手紙の一部を翻訳掲載しました

WTO世代として

ミン・チャン
奨学金に感謝

里親のご家族の皆さまにはご健康でお暮らしのこととお喜び申し上げます。

私と友人たちは、幾年にもわたって、日本の里親の皆さまが送ってくださった奨学金をハイズン(Hai Duong)県奨学会からいただきました。

まだ多くの困難を抱えているベトナムやハイズン県の学生を援助してくださっていることに、心からの感謝の気持ちを申し上げます。

1万2千ドンという奨学金は、私にとっては非常に意義あるものです。遠い国から贈られてくる特別なプレゼントだからです。そのお金で、私は自分で学費や参考書の代金を支払うことができます。

ルポライター目指す

今、ベトナムは後期の授業が終わったところです。皆さまに応援していただいたおかげで、比較的良い成績を残すことができました。

私は皆さま方の期待を裏切らないよう一生懸命勉強するつもりです。

将来の希望は、真理を守るため、得意な文章力を生かして、あらゆる



ベトナムの街角で

るところに取材に出かけるルポライターになることです。里親さまが応援してくださることを切に願っています。

夏休みも勉強!

5月も半ばになり、私たちはもうすぐ夏休みを迎えます。日本の夏はどうですか。ベトナムのように日差しが強くて暑いのでしょうか。

今年の夏休みですが、私は休みの大半をみんなと一緒にいつもと変わりなく学校に行き勉強します。私たちは、ベトナムの将来を担う世代です。

ベトナムはWTOに加盟しました。世界と歩調を合わせられる国となるため、私たちは自らに試練を課し、懸命に勉強しなければなりません。

輝かしい明日のために

「すべては、今日よりも輝かしい明日のために！」私たちの先生はいつもそう言います。

私たちは教科書が変わる最初の世代です。将来受ける試験においてたくさんの不利益を被るでしょう。そのことを私たちの誰もが心

配しています。しかしいつも、学生のために心から尽力してくださる先生方が側にいてくださいます。私たちは手を取り合って歩いていきます。

ベトナムには「尊師は道理を重んじる」ということわざがあります。たくさんの方を経験するたびに、私は先達

のその戒めの言葉を思い起こします。

美しいベトナムの夏に

ベトナムの夏は素晴らしい季節です。私の国は、日本のように近代的ではないけれど、親しみと愛



ホーチミン市付近のデルタ

情が感じられる美しい国です。

今、田園地帯には稲の花が咲き始め、通りには火焰樹の花が鳳尾を広がっています。なだらかな丘陵地ではさまざまな花が、黄金の陽光に照らされ、美しい色を放っています。

里親さまとご家族の皆さま、可能ならば、ベトナム人の客人をもてなす美しい心と自然を感じ取っていただくために、是非この夏にベトナムをお訪ねください。

お手紙が長くなってしまいました。ご家族皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。

(Minh Trang)



主要交通手段のバイク

新しい学生服

グエン・ティ・ゴク・チャム

私の名前はグエン・ティ・ゴク・チャムです。ビーバンザン (Be Van Dan) 小学校3年Bクラスの生徒です。

青葉奨学会から、里親が決まったと知らされたとき、私は泣き叫びたいほどうれしかったのです。

奨学金は07年1月にいただきました。おかげで通学服が用意できました。私と家族はとても助かりました。里親さまの思いやりの心に私は深く感謝しています。

里親さまや両親を裏切らないように私は一生懸命勉強することを誓います。

(Nguyen Thi Ngoc Tram)

高校入試ひかえて

ファム・ティ・フー・ハン

最終学年になりました。長い間ご無沙汰しています。

今日の勉強が終わった後、急いで筆を執りお手紙を書いています。

ご援助を受けられるようになって以来、私の家族は困難が減り、母も毎月の学費の心配が軽くなりました。私も学業により専念できるようになりました。

今年是最終学年なので、高校入試の準備のため、いつも以上に勉強に時間を割かなくてはなりません。

手伝いを全くすることができないので、母はとても大変です。

国立高校受験です

私は国立高校に合格することで



ベトナムの小学生 (校庭)

その苦勞に比べようと思っています。これは私の人生で初めての大きな試練です。

私の家は貧しく、母が必死に働いてようやく食べていだけのお金を稼いでいるのです。将来は母を助けられるように良い成績を取らなくてはなりません。

青葉奨学金、夢への一歩

以前私の家がとても貧しかったときには、せめてほかの家の子と同じように勉強ができたらいいなとだけ願っていました。学校で勉強することさえ夢にすぎなかったのです。

でも今は、里親さまのご援助を受け、夢が実現できるかもしれないと思うようになりました。奨学金の額は多くありませんが、家族や私にはとても大切なものです。

感謝、言葉にできない

私はまだ一度も里親さまにお目にかかったことがありませんが、私の成長のため、勉強の資金を出して下さった父親のような方と考えています。

今は、間もなく行われる高校入試の準備のために勉強に集中してはなりません。里親さまにお手紙を書く時間さえありません。どうか許してください。

私に下さった愛情を裏切らないよう勉強し、良い成績を取ることをお約束いたします。

(Pham Thi Huu Hang)



ベトナムの小学生 (集会)

(本文と写真とは関係ありません：編集部)

●事務局から

◆ご入金報告 ご支援ありがとうございます（敬称略）

2007年7月

2007年8月

※最終入金日 封筒の宛名ラベルの下に 会員番号KD-XXXX ○年○月○日と印字してあります。ぜひご確認ください。

※基金のお申し込みは下記の専用口座をお願いします。

黄梅基金&学校建設基金 口座名義「ベトナム子供基金」

郵便振替 00190-6-666994 銀行振込 みずほ銀行駒込支店 普通預金 8071959

里親基金&一般基金 口座名義「ベトナム子供基金」

郵便振替 00140-1-70399 銀行振込 みずほ銀行駒込支店 普通預金 1495745

■2007年9月30日現在の会員と奨学生（里子）：

里親基金：218人（308口）、一般基金：37人（39口）＝ 青葉奨学生 421人

◆ベトナム子供基金10周年記念事業基金募集

ベトナム黄梅基金 1口1万円	ベトナム子供基金の会員で基金を設立します。
個別黄梅基金 1口30万円以上	個人またはグループで黄梅基金を設立します。基金の名前、支援地域・学校等は、ご相談の上、決定します。
学校建設黄梅基金	青葉奨学会と相談の上、個人またはグループで学校建設と黄梅基金を併設した基金を設立します。

◆ベトナム子供基金会員募集

里親基金：年額1口2万円 学生会員：年額1口1万円	特定の「里子」に奨学金を支給する里親になっていただけます。ベトナム青葉奨学金から子どもの履歴票が届き、子どもとの手紙のやりとりができます。
一般基金 年額1口1万2000円	子どもたち全体の「里親」という関係を想定しています。子供基金通信によって、会の運営、子どもたちの様子をお伝えします。
賛助基金	一般基金に準じます。金額、回数等、いっさい自由です。

ベトナム青葉奨学会 QUY HOC BONG LA XANH 電話：84-8-8477359 ファクス：84-8-8477527
c/o TRUONG NHAT NGU DONG DU, 43D/46 Ho Van Hue, Q. Phu Nhuan, Ho Chi Minh, Viet Nam

「ベトナム子供基金通信」へのご感想、ご意見、ベトナムの子どもについてのニュースをお寄せください。第41号より、サイズをA4判、8頁に変更いたしました。

発行人：近藤昇 編集人：植田泰史 印刷所：(有)川田プリント ©Vietnam Kodomo Kikin 2007